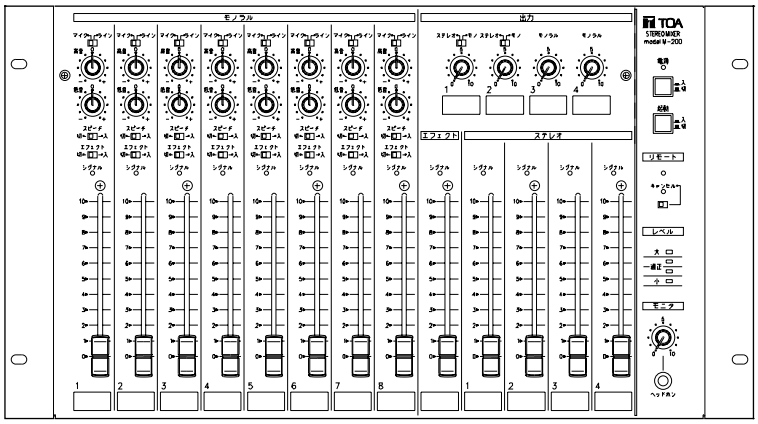
TOA

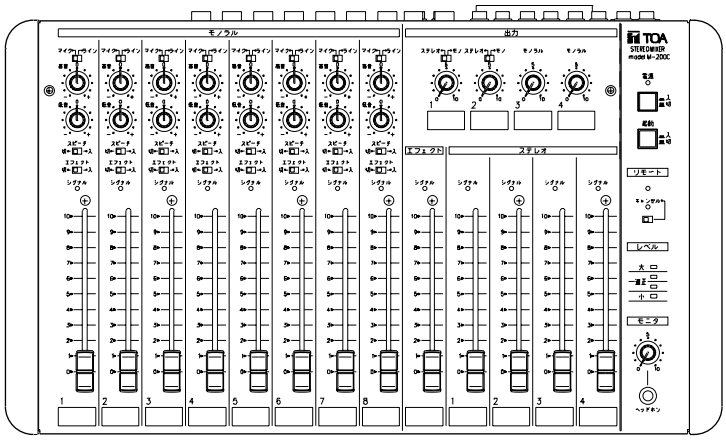
取扱説明書

ステレオミキサ

M-200
M-200C



M-200



M-200C

このたびは、TOA ステレオミキサをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目　次

安全上のご注意 …… 3

概　要 …… 5

特　長 …… 5

使用上のご注意 …… 5

各部の名称とはたらき

操作パネル …… 6

接続パネル …… 8

接続例

本機が１台の場合のシステム例 …… 10

本機を他の１台でリモート制御する場合（ルームコンバイニング）のシステム例 …… 11

接続パネルの移動 …… 12

ブロックダイヤグラム …… 13

外観寸法図

M-200 ラックマウントタイプ …… 14

M-200C 据置コンソールタイプ …… 15

仕　様 …… 16

付属品 …… 16

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号		行為を強制する記号	
分解禁止	禁　止	強　制	電源プラグを抜け

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき

電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

内部に異物を入れない

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁　止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

使用するとき

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

強　制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁　止

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

概　要

シンプルな機能で、操作が簡単なステレオミキサです。
入力は13系統（モノラル8、ステレオ4、エフェクト1）、出力は7系統（ステレオ2、モノラル2、モニタ1、録音1、エフェクト1）あります。
さらに、アクセサリ入・出力や割り込みのリモート入力を装備しているので、各種信号処理、音量遠隔操作、サテライトシステム、ルームコンバイニングシステムなどの色々なシステム構成ができます。

M-200 はラックマウントタタイプで、M-200C は据置コンソールタイプです。

特　長

- 本機に接続されている入力機器の信号を切って、他の機器からの音声信号を入力できるリモート機能を持っています。（☞ P. 11）

- 8系統のモノラル入力は、いずれもマイク入力またはライン入力に切り換えることができます。
（スライド式のスイッチで簡単に切り換えられます。）

- 2系統のステレオ出力は、4系統のモノラル出力に切り換えることができ、合計 6 系統のモノラル出力を使用することもできます。

- モノラル入力には、マイクの音声を明瞭にするためのローカット機能を持たせています。また、入力ごとに高音と低音の音質を調節できる音質調節器をもっています。

- すべての音量調節器には 100 mm ストロークの大型フェーダを採用していますので、操作がしやすく、きめ細かな調節ができます。また設定した音量レベルがひと目でわかります。

- 2系統のモノラル出力と2系統のステレオ出力は、個々に出力音量を調節できます。

- 接続パネルを後面から上面に移動させ、設置場所に応じて後面または上面から接続することができます。（M-200 の場合）

- アクセサリ入出力端子は、モノラル入力系とステレオ入力系を分けていますので、それぞれ個別にイコライザを接続できます。

使用上のご注意

- 付属の電源コードは、本機専用品です。本機以外の機器に使用しないでください。

- 電源電圧は、AC100 V ± 10%、50/60 Hz で使用してください。

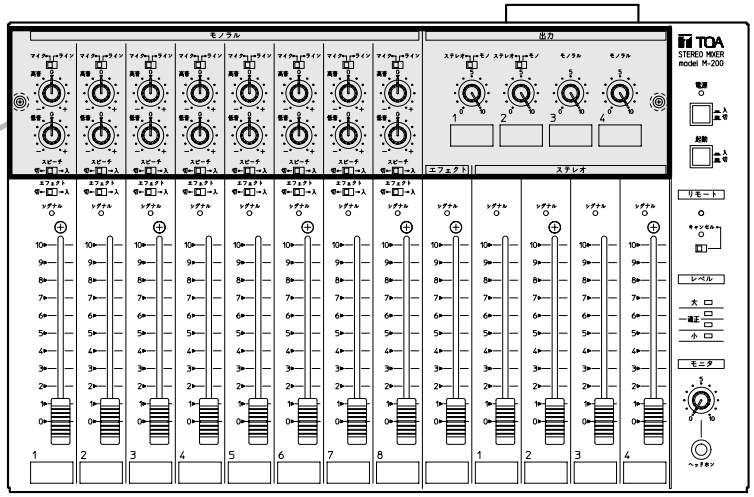
- 使用する場所の温度範囲は 0 ℃～+40 ℃で、湿度は 90%以下（ただし結露しないこと）で使用してください。

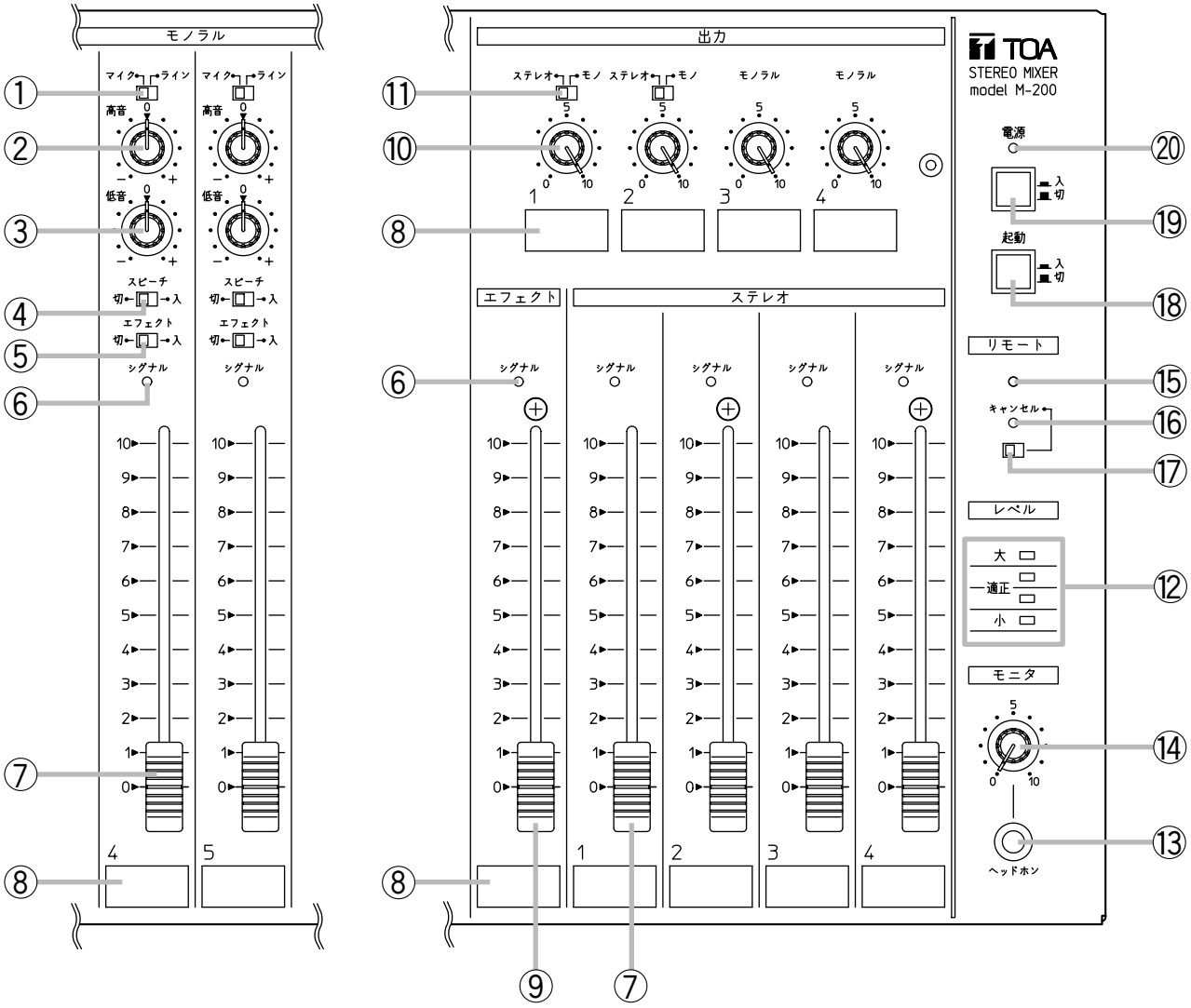
- 清掃するときは、乾いたやわらかい布でふいてください。
ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは、絶対に使用しないでください。変形、変色の原因になります。

各部の名称とはたらき

［操作パネル］

M-200 には側面にラックマウント金具が、M-200C には側板がついています。（ ☞P. 14 ～ 15「外観寸法図」）





① 入力切換スイッチ［マイク／ライン］
入力信号のレベルに合わせて切り換えます。
マイクロホン（ローインピーダンス）：マイク側
ワイヤレスチューナなど　　：ライン側

② 高音調節器
高音部の音質を調節します。通常は「0」の位置で使用します。高音部を強めたいときは十側に、弱めたいときはー側に回します。

③ 低音調節器
低音部の音質を調節します。通常は「0」の位置で使用します。低音部を強めたいときは十側に、弱めたいときはー側に回します。

④ スピーチスイッチ
マイクロホンを使用するときなど、低音がこもりぎみで明瞭度が悪いときは「入」側にします。
（内蔵しているローカットフィルタを入／切します。）

⑤ エフェクトスイッチ
後面のエフェクト入力端子㉒に接続した機器（エコーマシンなど）を使用するときは「入」側に、使用しないときは「切」側にします。

⑥ シグナル表示灯
各入力チャンネルに信号が入ると点灯します。

⑦ 入力音量調節器
各入力機器（マイクロホン、CD プレーヤなど）の音量を調節します。
「0」の位置で最小に、「10」の位置で最大音量になります。レベルメータ⑫が「適正」の位置で点灯するように調節してください。

⑧ 名称表示スペース
各入出力の名称を書き込んでおくと便利です。
（例：CD プレーヤ）

⑨ エフェクト音量調節器
後面のエフェクト入力端子㉒に接続されている機器（エコーマシンなど）の音量を調節します。

⑩ 出力音量調節器
後面の出力端子１～４㉔からの出力音量を調節します。
工場出荷時：10（最大）の位置

⑪ ステレオ／モノラル出力切換スイッチ
後面のステレオ出力1、出力2の出力信号がステレオかモノラルかを選択します。

⑫ レベルインジケータ
各入力信号がミキシングされた音量レベルを表示します。最大音量時に「適正」の位置で点灯するように各音量調節器で調節してください。

⑬ ヘッドホン出力端子
インピーダンスが８Ω以上のヘッドホンを接続します。各入力で調節された信号をミキシングしてモニタできます。ヘッドホンの音量はモニタ音量調節器⑭で調節します。
後面のモニタ出力端子㉕と同じ信号が出力されます。

⑭ モニタ音量調節器
ヘッドホン出力端子⑬に接続したヘッドホンとモニタ出力端子㉕の音量を調節します。

⑮ リモート表示灯
後面のメイク入力端子㉝にリモート信号（メイク接点）が入ると点灯します。

⑯ リモートキャンセル表示灯
キャンセルスイッチ⑰を右側にすると点灯します。

⑰ リモートキャンセルスイッチ
右側にするとキャンセル表示灯⑯が点灯して、後面のリモート入力端子㉚の信号を切ります。
このときリモート表示灯⑮は消灯しません。

ご注意
電源スイッチ⑲が「入」のときだけ動作します。

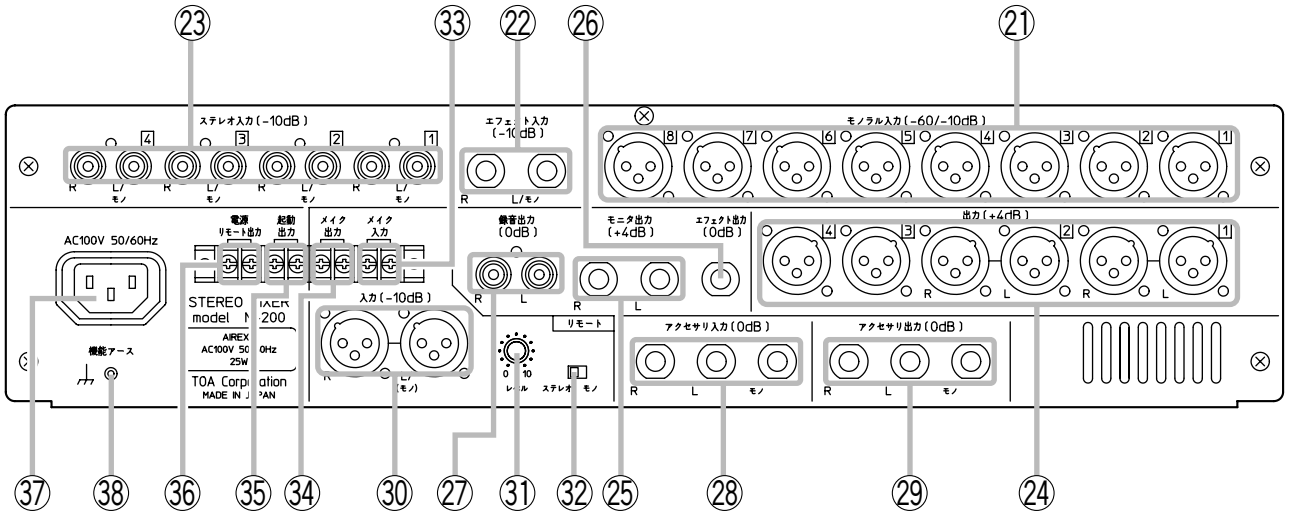
⑱ 起動スイッチ
押すと「入」になり、後面の起動出力端子㉟がメイクします。他のミキサをリモート制御するときなどに利用します。もう一度押すと「切」になり、出力はオープンになります。

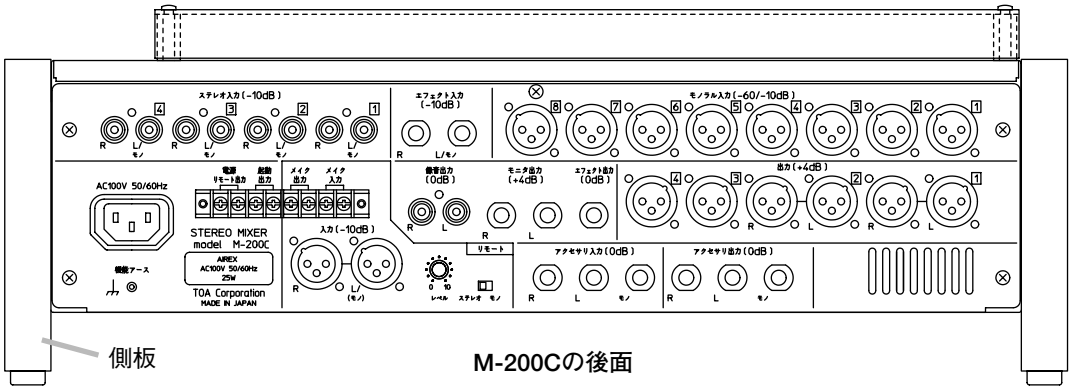
⑲ 電源スイッチ
押すと本機に電源が入ります。もう一度押すと本機の電源が切れます。

⑳ 電源表示灯
電源スイッチ⑲が「入」のときのみ点灯します。
外部からのリモート制御により起動されたときは、本機に電源が入りますが点灯しません。

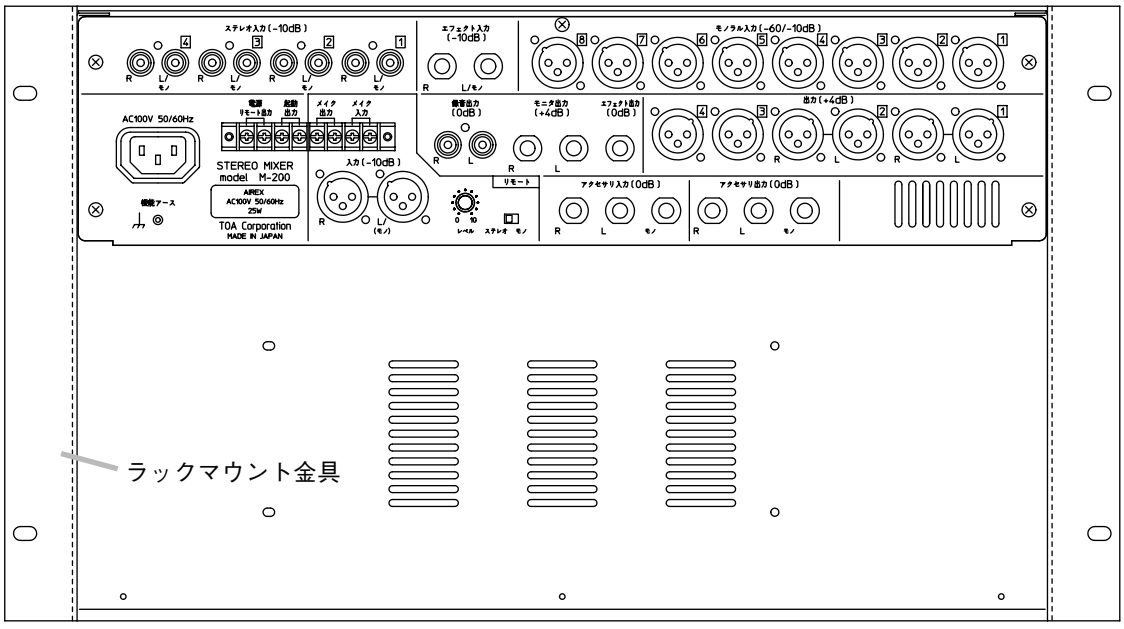
[接続パネル]

M-200 の場合、接続パネルは後面から上面に移動させて取り付けることができます。本機を設置する場所に合わせてせて移動させてください。(☞ P. 12)





M-200Cの後面



M-200の後面

㉑ **モノラル入力端子１～８（XLR-3-31 相当品）**
電子バランス型の入力端子です。マイクロホンやワイヤレスチューナなどを接続します。
接続には、XLR-3-12C 相当品のコネクタを使用します。
１番ピン：アース
２番ピン：ホット
３番ピン：コールド

㉒ **エフェクト入力端子（ホーンジャック）**
エコーマシンなどのエフェクタの出力端子に接続します。L 端子のみに接続すると、R 側にも L 端子と同じ信号が入力されます。

㉓ **ステレオ入力端子１～４（ピンジャック）**
ステレオライン信号（CD プレーヤなど）を接続します。L 端子のみに接続すると、R 側にも L 端子と同じ信号が入力されます。

㉔ **出力端子１～４（XLR-3-32 相当品）**
出力１と出力２の出力は操作パネルのステレオ／モノラル出力切換スイッチ⑪でステレオかモノラルに切り換えて使用することができます。（出力３と出力４はモノラルです。）
接続には、XLR-3-11C 相当品のコネクタを使用します。

㉕ **モニタ出力端子（ホーンジャック）**
各入力で調節された入力信号がミキシングされて出力されます。
モニタ音量調節器⑭で音量の調節ができます。

㉖ **エフェクト出力端子（ホーンジャック）**
エフェクタ（エコーマシンなど）の入力端子に接続します。

㉗ **録音出力端子（ピンジャック）**
モニタ出力端子㉕と同じ信号が出力されます。音量の調節はできません。

㉘ **アクセサリ入力端子（ホーンジャック）**
エフェクト機器（イコライザやディレイマシンなど）の出力を接続する端子です。

㉙ **アクセサリ出力端子（ホーンジャック）**
エフェクト機器（イコライザやディレイマシンなど）の入力端子に接続します。

㉚ **リモート入力端子（XLR-3-31 相当品）**
外部のリモート機器からの信号を接続します。
接続には、XLR-3-12C 相当品のコネクタを使用します。

㉛ **リモート入力音量調節器［レベル］**
リモート入力端子㉚に入力された信号の音量を調節します。

㉜ **ステレオ／モノラル入力切換スイッチ**
リモート入力端子㉚に入力（接続）する信号がステレオかモノラルかを選びます。
モノラルに切り換えた場合、リモート入力端子の「L／（モノ）」側の入力信号が選択されます。

㉝ **リモート制御入力端子［メイク入力］**
リモート信号（メイク接点）を入力すると、本機の電源スイッチ⑲が「切」の状態でも本機に電源が入り、リモート入力端子㉚に接続された音声信号のみが有効となります。このとき、電源表示灯⑳は点灯しません。

ご注意
電源スイッチが「入」のときにリモートキャンセルスイッチ⑰を右側にしておくと、リモート入力端子に入力された信号は受け付けられません。
（☞ P. 7 リモートキャンセルスイッチ⑰）

㉞ **リモート制御出力端子［メイク出力］**
メイク入力端子㉝にリモート信号（メイク接点）が入力されている間、出力をメイクします。

㉟ **起動出力端子**
起動スイッチ⑱を押して「入」にすると、出力をメイクします。

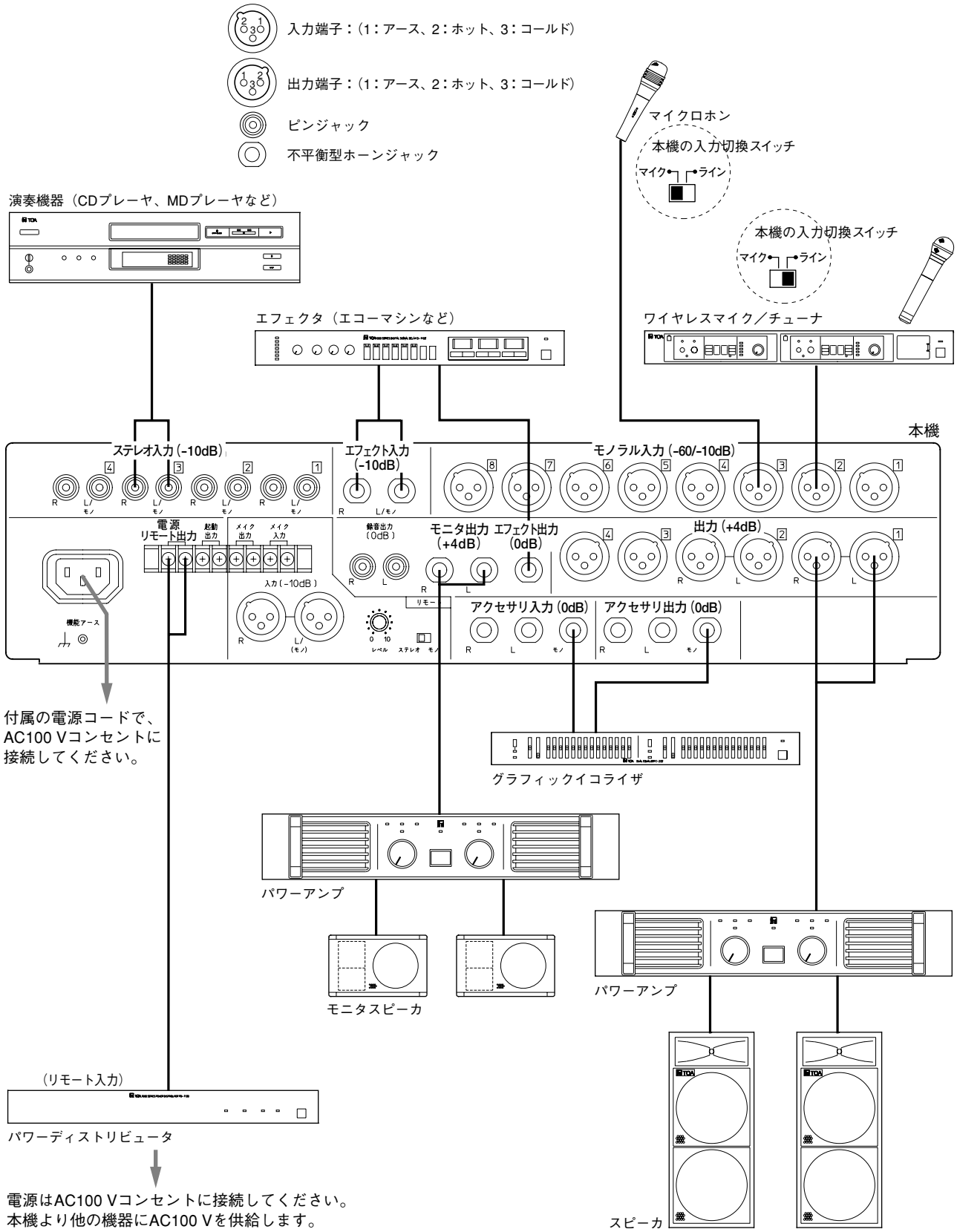
㊱ **電源リモート出力端子**
電源スイッチ⑲を押して「入」にしたときや、リモート制御入力端子㉝にリモート信号（メイク接点）が入力されると出力をメイクします。

㊲ **AC インレット**
付属の電源コードで AC100 V コンセントに接続します。

㊳ **アース端子［機能アース］**

接続例

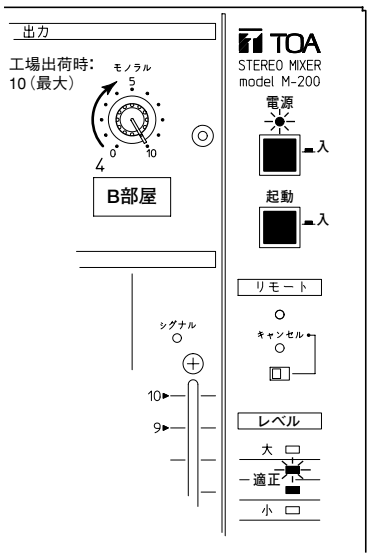
[本機が1台の場合のシステム例]

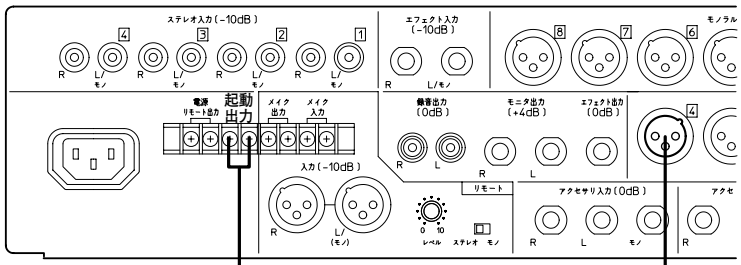


[本機を他の1台でリモート制御する場合（ルームコンバイニング）のシステム例]

※ それぞれ（下記の例ではA部屋とB部屋）のミキサには、P. 10の接続例を参照して各機器を接続します。
下記の例は、A部屋のミキサからB部屋のミキサをリモート制御して使用する例です。
B部屋では、A部屋からの入力信号が優先されます。

A部屋のシステム



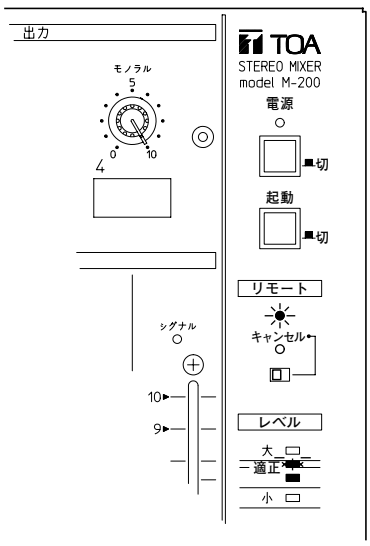


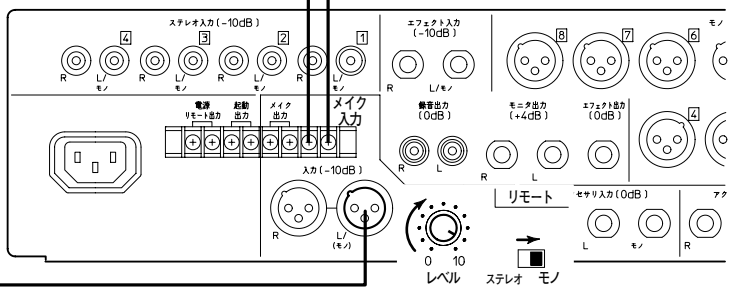
※出力4はモノラル

[A部屋での操作]

1. 電源スイッチを押して「入」にします。
（電源表示灯が点灯）
2. 入力機器を操作して、動作状態にします。
3. 入力音量調整器を操作して、レベルインジケータを適正の位置で点灯させます。
4. 起動スイッチを押して「入」にします。

B部屋のシステム





[B部屋での操作]

※ リモート表示灯⑮が点灯します。

1. 通常は、操作することがありません。
2. B部屋で、リモート制御を強制解除するときは、電源スイッチ⑲を「入」にして、リモートキャンセルスイッチ⑰を「右」側にします。このときリモートキャンセル表示灯⑯が点灯します。
リモート表示灯⑮は点灯したままです。

※ リモート入力のレベルは、あらかじめレベルインジケータが適正の位置で点灯するように調節しておきます。

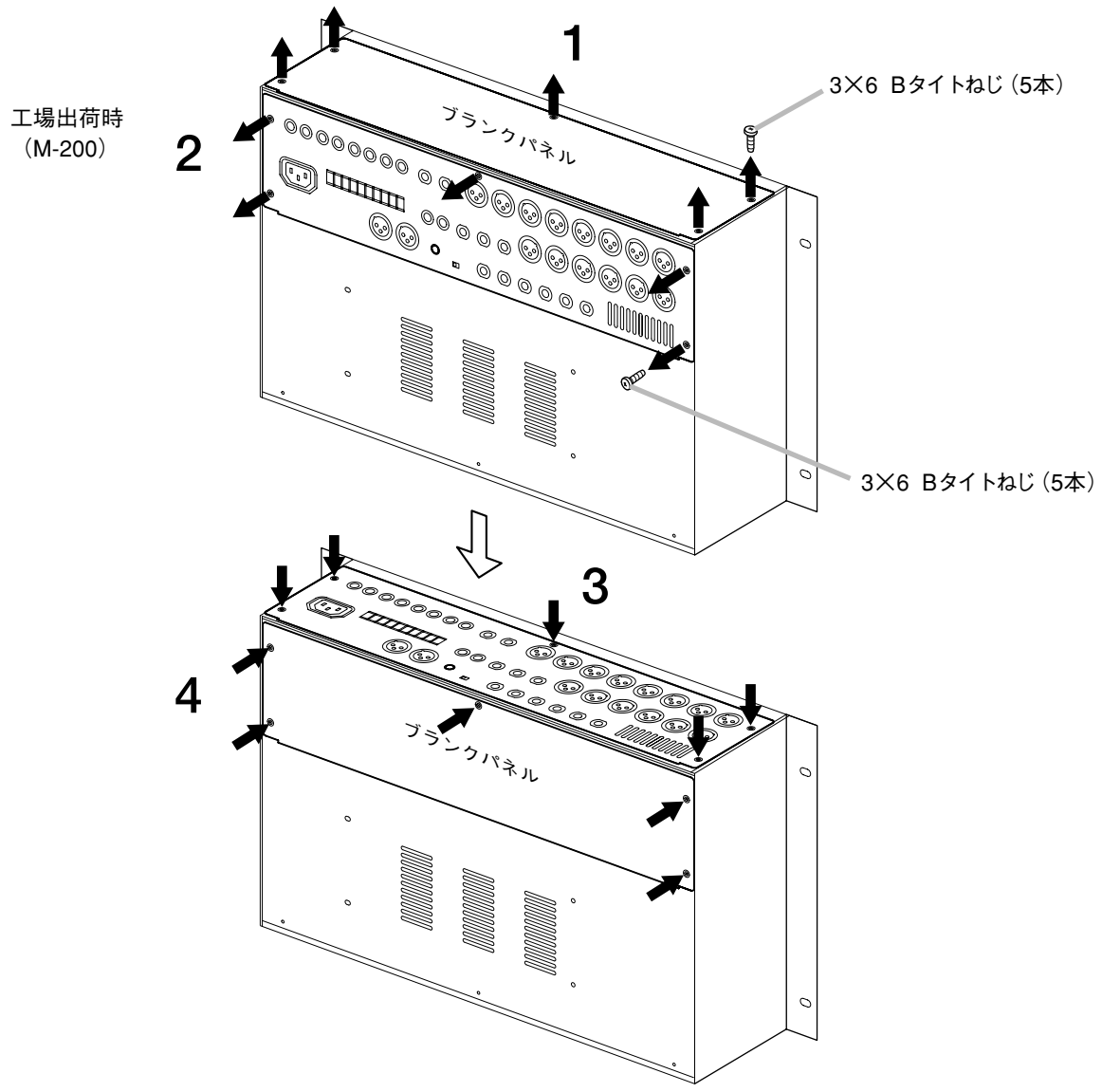
接続パネルの移動（M-200）

⚠ 警告

以下のことをお守りください。火災・感電の原因となります。
- 作業前にAC電源プラグを抜く。
- 内部に異物を入れない。

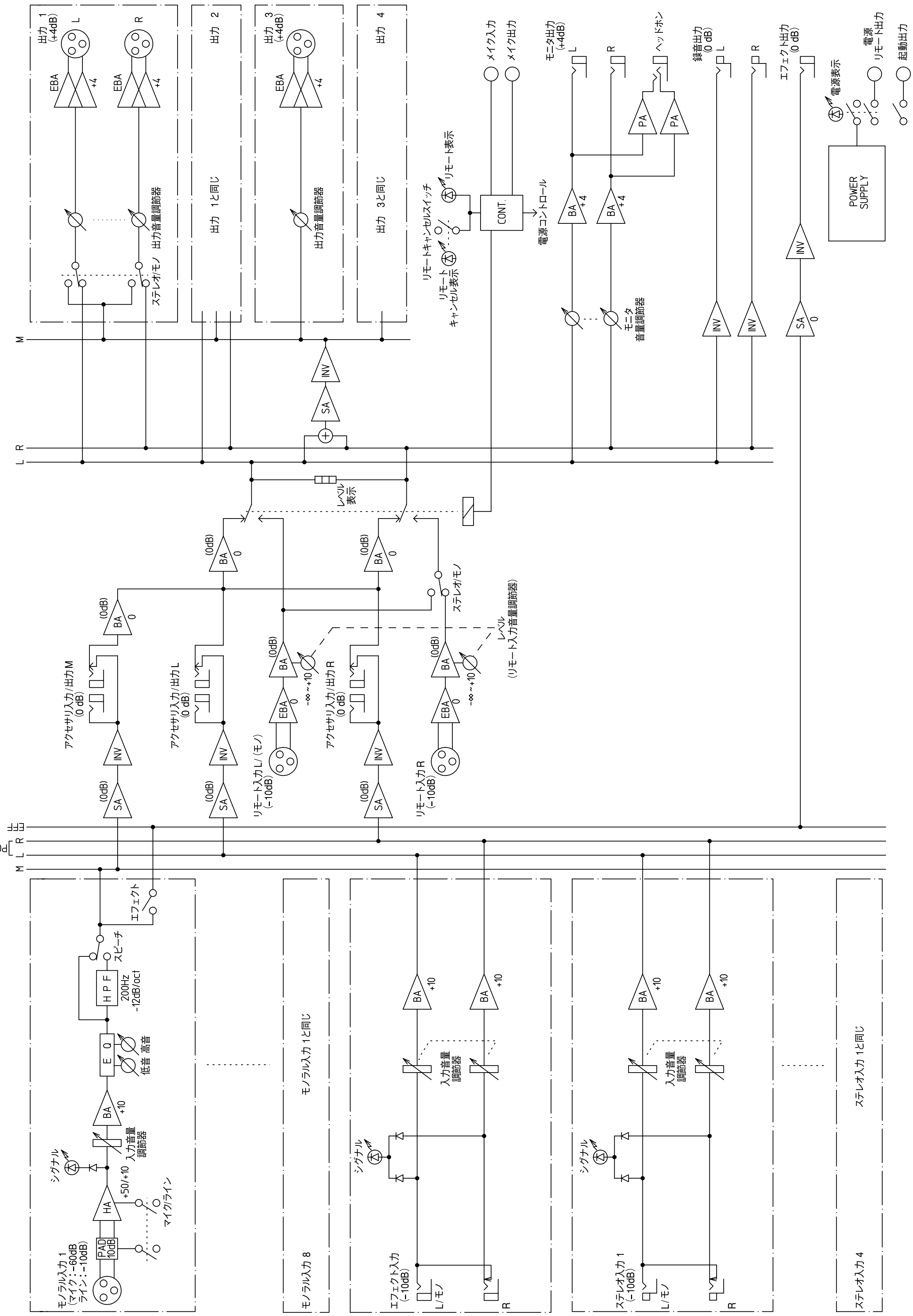
1. ブランクパネルを固定しているねじ（5カ所）を外して、ブランクパネルを取り外します。
2. 接続パネルを固定しているねじ（5カ所）を外して、接続パネルを取り外し、元のブランクパネルの位置に取り付けます。
3. 元のブランクパネルの位置に接続パネルを取り付けます。
4. 元の接続パネルの位置にブランクパネルを取り付けます。

※ ねじは外したものを使用します。



ご注意 移動させた場合、ラックに取り付けるときは、プラグやコネクタ類で接続できるようにスペースを考慮してください。

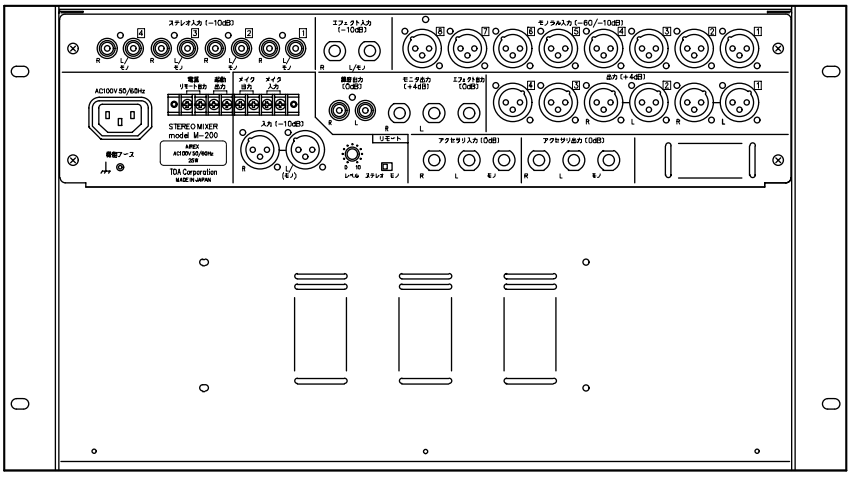
ブロックダイヤグラム


出力 1 (+4dB)
出力 2
出力 3 (+4dB)
出力 4
出力 1と同じ
出力 3と同じ
出力音量調節器
ステレオ/モノ
EBA
INV
SA
BA
HA
PA
メイク入力
メイク出力
モニタ出力 (+4dB)
ヘッドホン
録音出力 (0 dB)
エフェクト出力 (0 dB)
電源表示
電源リモート出力
起動出力
POWER SUPPLY
CONT.
電源コントロール
リモート表示
リモートキャンセルスイッチ
リモートキャンセル表示
モニタ音量調節器
レベル表示
アクセサリ入力/出力M (0 dB)
アクセサリ入力/出力L (0 dB)
アクセサリ入力/出力R (0 dB)
リモート入力L/(モノ) (−10dB)
リモート入力R (−10dB)
レベル (リモート入力音量調節器)
EFF
PGM
エフェクト
スピーチ
HPF 200Hz -12dB/oct
EQ
低音 高音
入力音量調節器
シグナル
マイク/ライン
PAD 10dB
モノラル入力 1 (マイク：−60dB ライン：−10dB)
モノラル入力 8
モノラル入力 1と同じ
エフェクト入力 (−10dB)
ステレオ入力 1 (−10dB)
ステレオ入力 4
ステレオ入力 1と同じ
L/モノ

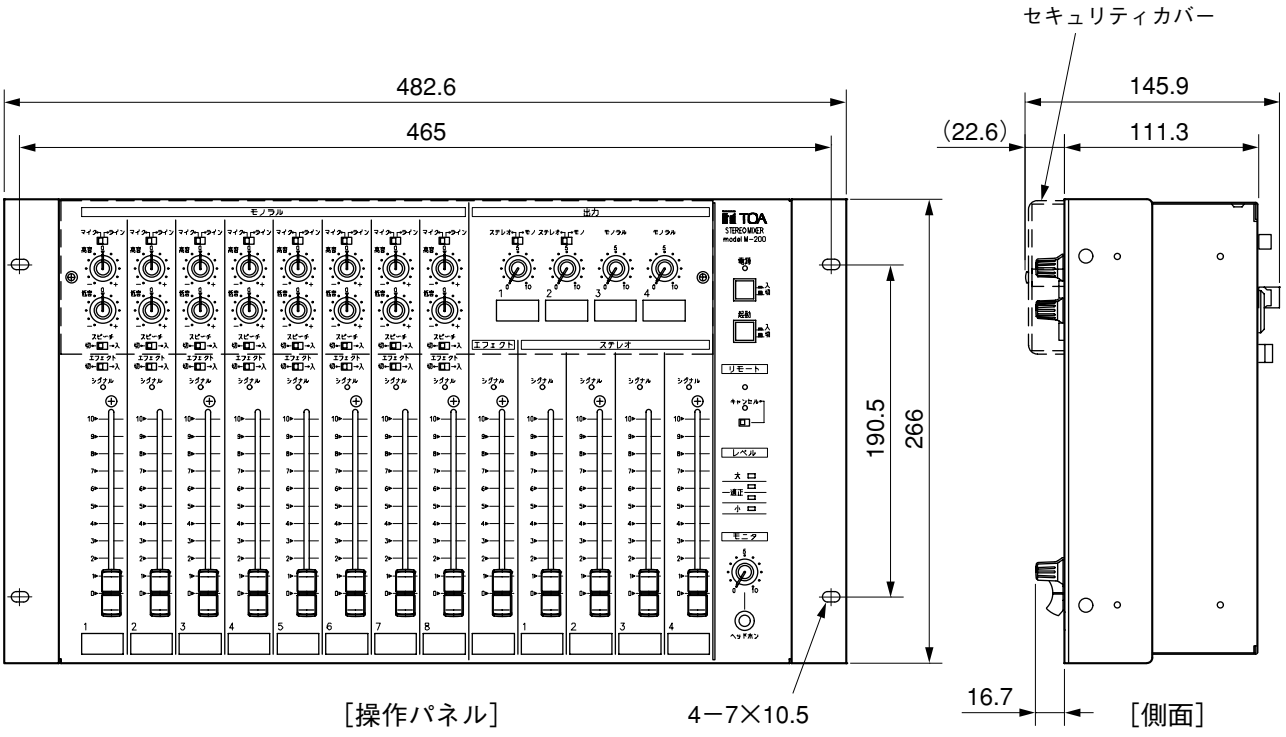
外観寸法図

［M-200］ラックマウントタイプ

単位：mm



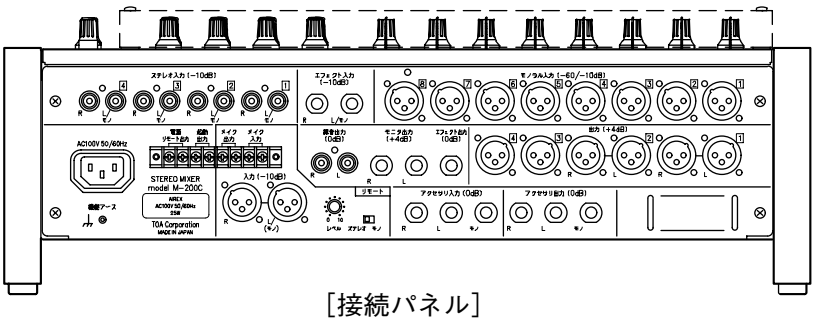
［接続パネル］



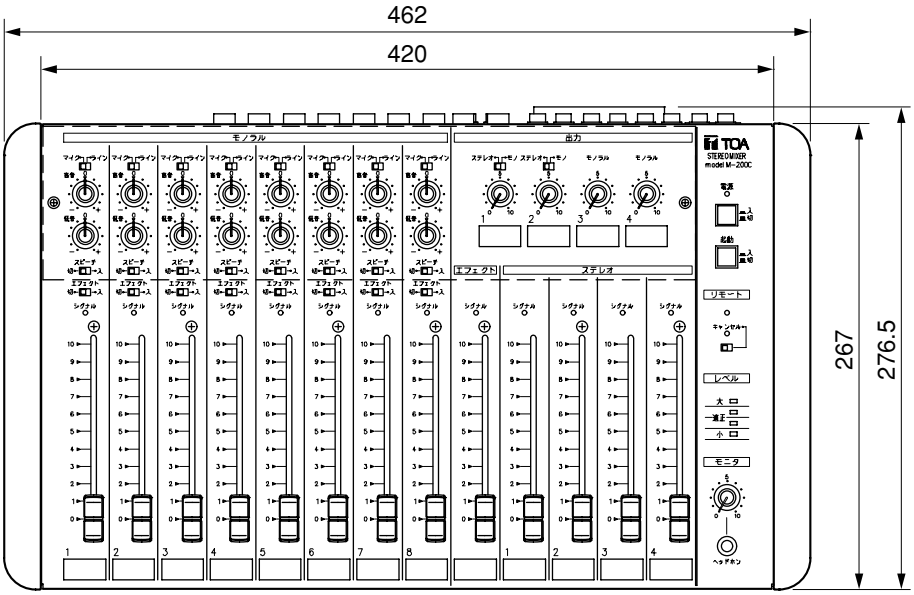
［操作パネル］　［側面］

［M-200C］据置コンソールタイプ

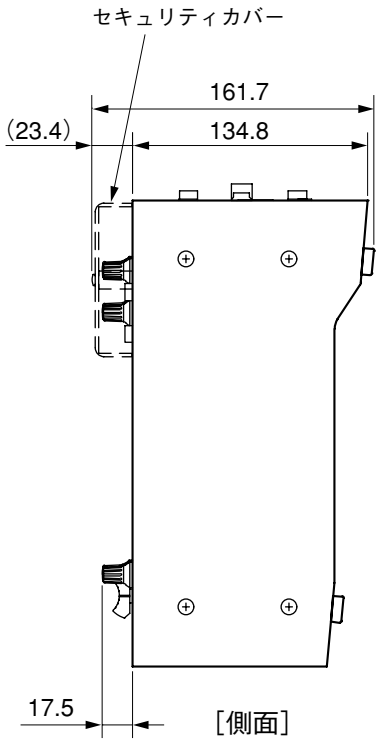
単位：mm



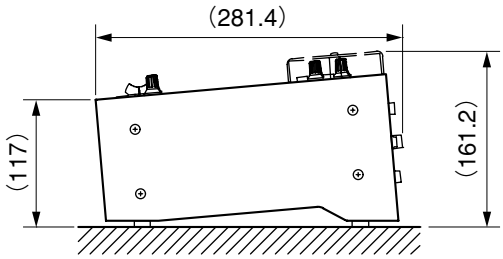
［接続パネル］



［操作パネル］



［側面］



仕　様

電　　源	AC100 V、50/60 Hz
消 費 電 力	25 W
入　　力	モノラル（1 ～ 8）　：−60 dB *、2 kΩ（マイク）／ −10 dB *、6 kΩ（ライン）、XLR-3-31 相当品、電子バランス マイク／ラインは入力切換スイッチで選択可 ステレオ L、R（1 ～ 4）：−10 dB *、10 kΩ、RCA ピンジャック、不平衡 エフェクト L、R　：−10 dB *、10 kΩ、ホーンジャック、不平衡 アクセサリ（M、L、R）：0 dB *、10 kΩ、ホーンジャック、不平衡 リモート L、R　：−10 dB *、10 kΩ、XLR-3-31 相当品、電子バランス
出　　力	ステレオ L、R（1、2）：+4 dB *、適合負荷 600 Ω以上 XLR-3-32 相当品、電子バランス モノラル（3、4）　：+4 dB *、適合負荷 600 Ω以上 XLR-3-32 相当品、電子バランス エフェクト　：0 dB *、1 kΩ、ホーンジャック、不平衡 モニタ L、R　：+4 dB *、1 kΩ、ホーンジャック、不平衡 録音 L、R　：0 dB *、1 kΩ、RCA ピンジャック、不平衡 アクセサリ（M、L、R）：0 dB *、1 kΩ、ホーンジャック、不平衡 ステレオヘッドホン　：適合負荷 8 Ω以上、20 mW ＋ 20 mW
そ の 他	音質調節器（高音：4 kHz、低音：400 Hz 各±12 dB、ピーキング、モノラル入力） スピーチ　（ローカットフィルタ：−12 dB/oct、200 Hz、モノラル入力） 入力シグナルインジケータ 出力レベルインジケータ 起動スイッチ（オルタネート） リモート制御端子（1 A、30 V）：メイク入出力、電源出力、起動出力 リモートキャンセル
周 波 数 特 性	20 Hz ～ 20 kHz（+1、−3 dB）
歪　　率	0.01% 以下（1 kHz、ラインレベル定格入出力）
雑　　音	ステレオ、モノラル出力／ −98 dB *以下（BPF、音量調節最小）
仕 上 げ	フロントパネル　：表面処理鋼板、グレー（マンセル N4 近似色） ラックマウント金具（M-200）：表面処理鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色、3 分艶） 側板（M-200C）　：MDF、グレー（スエード調、マンセル N4.5 近似色）
寸　　法	M-200 ：482.6（幅）× 266（高さ）× 111.3（奥行）mm（突起部含まず） M-200C：462（幅）× 134.8（高さ）× 267（奥行）mm（突起部含まず）
質　　量	M-200 ：5.5 kg M-200C：6.4 kg

* 0 dB = 0.775 V rms

※ XLR タイプコネクタは、② 番 HOT です。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

電源コード 1
セキュリティカバー 1
セキュリティカバーねじ（バインド小ねじ M3 × 6）... 2
セキュリティカバー取付用スリーブ 2
本体カバー（M-200C のみ） 1
ラックマウントねじ（5 × 20 Sタイト、M-200のみ）... 4

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）	ナビダイヤル　0570-064-475（有料） FAX　0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ http://www.toa.co.jp/

TOA 株式会社

133-12-613-4C